すべての来館者の方に 安心してご利用いただくため 抗ウイルス対策を実施

INTRODUCTION

新型コロナウイルス第一波の感染者増加に伴い、日本サッカーミュージアムは2020年2月29日より約３か月間の休館を余儀なくされました。営業を再開に向け抗ウイルス対策としてヘルスブライトを導入。導入の経緯やその効果について日本サッカー協会マーケティング本部プロモーション部ミュージアムグループグループ長の増田尚弘さまにお話を伺いました。
(取材日2021年８月)



エントランスで感染症対策のPR動画を放映

日本サッカーミュージアムでは、来館者の皆さまに少しでも安心して来館していただくため、抗菌・抗ウイルスコーティングを施工させていただきました。現在、チケット券売機横のモニターで抗ウイルスコーティング施工をしている映像を流しております。来館するお客様が少しでも安心して来館し、展示物をゆっくり見ていただけるように入館前にPRしております。

お子様が触れても安心に

来場者の3割は、15歳以下となります。小さいお子さまは、ショーケースに手をついて展示品を見ることが多いです。そのため、展示ケース、手すり、券売機、テーブルなど来場者の多くの方が手で触れる恐れがあるところにはコーティング作業を実施しました。とくにミュージアムで、フォトスポットになっている2002年の日本対ロシア戦のユニフォームのオブジェに関しては、来場者の皆さまが円陣を組むことができるので、特に入念に抗ウイルス作業をしました。



@JFA

展示品を傷つけないような施工

当ミュージアムには、サッカー日本代表選手のサインなど1点ものが多くあります。
濡れてはいけないサインや展示品などに関しては、マスキングテープで養生を行い、施工していただき、展示品などを傷つけずに丁寧に作業を実施していただきました。施工時間については、マスキングでかなりの時間を要すると想定していましたが、手際よく、かつ丁寧な施工により、一日で終わり非常に満足しております。

今後もよりお客さまに安心してご利用いただくために

ヘルスブライトは、接触による抗菌、抗ウイルスに役立つと思っています。一方で、空気中のウイルスに関しては、空気清浄機を置いて今より一層の対策をしていこうかなと考えております。接触不安の解消と飛沫対策といったダブルでミュージアムとしては、来場者さまをお迎えしたいと考えております。
日常の生活が取り戻した際には、以前のようにサッカー観戦あるいはサッカーをする機会がまた戻ってくると思います。その際は、日本のサッカーを学べるここ日本サッカーミュージアムに足を運んでいただければと思います。





日本サッカーミュージアム

https://www.jfa.jp/football_museum/

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り（本郷3-10-15）JFAハウス

日本サッカー協会が2002 FIFAワールドカップの開催を記念して2003年12月22日に開設した日本サッカー協会ビル(JFAハウス)に設けられた展示施設。

Copyright © 2022 KOYOU Bussan Co.,Ltd All Rights Reserved.